行岡保健衛生学園　自己点検自己評価表**(2025 年度　令和 7 年度)**

学校名：行岡医学技術専門学校
学科名：看護第 1 学科
記入者：　吉田　菊江（16 名）

１．学校の教育目標　学生便覧 P2、P67～P81・授業計画 P2～20

1. 人間を成長・発達・変化している身体的・精神的・社会的・霊的（スピリチュアル）に統合した存在として幅広く理解する能力を養う。
2. 対象を中心とした看護を提供するために、看護師としての人間関係を形成するコミュニケーション能力を養う。
3. 看護師としての責務を自覚し、対象の立場に立った倫理に基づく看護を実践する基礎的能力を養う。
4. 科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力を養う。
5. 健康の保持・増進、疾病の予防及び回復に関わる看護を、健康の状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う。
6. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割及び他職種の役割を理解し、多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々への看護を提供する基礎的能力を養う。
7. 専門職業人として地域の健康問題に目を向け、最新知識・技術を自ら学び続け、看護の質向上を図る基礎的能力を養う。

２．学科の教育目標

授業計画各科目目標 P9～P16　、P21～
実習要項の各看護学実習目標 PP63～

３．評価項目の達成及び取組状況

（１）教育理念・目標

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	④　３　２　１
・学校における職業教育の特色は何か	④　３　２　１
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	４　③　２　１
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	４　③　２　１
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	４　③　２　１

① 課題

・18 歳人口減少、大学進学の増加に伴い受験生の減少、定員割れが予測される。

・入学生像の変化（要支援学生の増加）

・ディプロマポリシーの具体化。

・保護者との情報共有を増やし支援体制を確立する。

② 今後の改善方策

・入試方法の検討（R9 年度入試より、国語総合の削除、小論文・面接のみの実施）

・要支援対策を時間割に組み込む。

・大学教育との違い、当校や母体病院があること、系列病院の強み

・各学年の保護者説明会を年 1 回実施し協力を得る。

・カリキュラム評価の継続、ディプロマポリシーの具体化の継続。

・将来構想の明確化

③ 根拠資料

学則第 1 条、授業設計 P2、実習要項 P1、募集要項 P1　OC、新入生保護者懇談会

入学時オリエンテーション、

入学時保護者会：年 1 回、問題発生を予測し早めの 3 者面談を実施している。

国家試験への保護者支援依頼について郵送（年 3 回、成績の記入）。

YouTube チヤンネル、ブログ投稿。

④ 特記事項

募集・入学状況：募集 1.5 倍、入学生 82 名（103%）、学力の 2 極化がある。

（２）学校運営

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	４　③　２　１
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	４　③　２　１
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	４　③　２　１
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	４　③　２　１
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	４　③　２　１
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	４　③　２　１
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	４　③　２　１
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	４　③　２　１

① 課題

・出席管理が複雑、支援システムが業務効率化につながっていない

・学年担任の業務過多

② 今後の改善方策

・教務事務との調整。

・学内担当教員の確保

③ 根拠資料

授業設計、実習要項、学生便覧、アクションプラン、学校組織に関する規定、教務会議、就業規則、infoClipper（インフォクリッパー）活用、さくら連絡網、個人情報保護方針・ソーシャルメディア利用ガイドライン

④ 特記事項

（３）教育活動

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
･教育理念等に沿った教育課程の編成･実施方法等が策定されているか	４　③　２　１
･教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	４　③　２　１
･学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	４　③　２　１
･キャリア教育･実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④　３　２　１
･関連分野の企業･関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	４　③　２　１
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	４　③　２　１
・授業評価の実施・評価体制はあるか	４　③　２　１
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④　３　２　１
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④　３　２　１
･資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④　３　２　１
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	４　③　２　１
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務･兼務を含む）を確保するなどマネージメントが行われているか	４　③　２　１
･関連分野における先端的な知識･技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	４　③　２　１
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	４　③　２　１

① 課題

・職員の能力開発のための研修等が各自にまかされている。
・新任教員の教育が体系化されていない
・教員確保困難
・学生の個別案件の増加
・授業評価の回収率が低い

② 今後の改善方策

・年度の教員研修計画（内外）
・教員の人材確保及び教育に専念するための事務と教員業務の住み分けの調整
・スクールカウンセラーと「こころの保健室」の整備中

③ 根拠資料

授業設計、実習要項、実習施設、実習指導者会、実習施設や訪問看護 ST へのインターンシップ、授業評価、学則および学習評価に関する規程、教員の研修参加状況
学年末・卒業時満足度調査、入学時調査

④ 特記事項

（4）学修成果

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・就職率の向上が図られているか	④　３　２　１
・資格取得率の向上が図られているか	４　③　２　１
・退学率の低減が図られているか	４　③　２　１
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	４　③　２　１
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	４　③　２　１

① 課題

・国家試験合格率が 95%（予想）
・母体病院へ就職者数に変動がある。
・卒業生の社会的活動の把握が弱い。

② 今後の改善方策

・国家試験対策１年~３年までのラダー計画に基づき実施。時間割に国家試験対策を入れ込み、国家試験問題を通して学習の仕方を教える。
・要支援者の早い段階での学習支援、業者の活用。
・母体病院と協力し就職者を増やす。30 名目標。（母体病院の奨学金の早い決定。実習指導の充実、物品の整備。）
・卒後フォローップ研修やホームカミングデイの継続。看護部との情報交換。
・卒業生の学校授業への参画。

③ 根拠資料

14 条報告、大阪府への卒業状況報告、就職状況、国家試験合格率、国家試験対策、学籍の移動（休学・退学)、ホームカミングデイでの意見、スクールカウンセリングに関する事項、卒業生の授業参加状況。

④ 特記事項

（5）学生支援

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④　③　２　１
・学生相談に関する体制は整備されているか	４　③　２　１
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④　③　２　１
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④　③　２　１
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	４　③　２　１
・学生の生活環境への支援は行われているか	４　③　２　１
・保護者と適切に連携しているか	４　③　２　１
・卒業生への支援体制はあるか	４　③　２　１
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	４　③　２　１
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	４　③　２　１

① 課題

・要学習支援者が多くなっている

② 根拠資料

・就職指導年間計画表　・学年別面接計画　・カウンセリング実施状況
日本支援機構奨学金制度、専門実践教育訓練給付金、実習病院奨学金制度
ホームカミングデイ実施状況、健康管理規定

③ 特記事項

・R8 年度「こころの相談室」を設置し、学生支援をする。
・退学理由：進路変更（1 年）　健康上の理由（3 年）

（6）教育環境

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4　③　2　1
・学内外の実習施設、インターシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4　③　2　1
・防災に対する体制は整備されているか	4　③　2　1

① 課題

・Wi-Fi 環境の整備がない。

・南海トラフなどの自然災害を見据えた防災訓訓練（災害物品の使用)。

・実習室を必要なタイミングで使用できない

② 今後の改善方策

・Wi-Fi 環境の整備。

・実践的な災害・防災訓練、学生の学内における物資のローリングストックについて指導する。

・実習室使用調整

③ 根拠資料

・学内外の実習施設の教育体制の整備：実習要項

・防火訓練実施念１回

・在宅訪問看護ステーションや実習施設のインターンシップへの参加状況

・災害に関連した物品購入（ポータブル電気、バッテリー・ソーラーパネル・蓄電器、保存食など　）

④特記事項

（７）学生の受入れ状況

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・学生募集活動は、適正に行われているか	④　３　　２　１
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④　③　　２　１
・学納金は妥当なものとなっているか	④　③　　２　１

① 課題

・18 歳人口の減少・応募者の減少。
　進路決定には、保護者や学校先生の影響が大きい。

② 今後の改善方策

・学生目線にたった OC の実施を 18 日（29 回）実施。保護者への丁寧な説明。・
・早期の高校訪問。（面倒見の良い所の PR、学校・生活紹介一覧・在校生ﾚﾀｰの更新）

③ 根拠資料

　募集要項、早期の高校訪問、学生目線にたった OC の実施・参加状況、入学試験倍率、大阪府への入学状況報告、学則、YouTube 公開、ブログ投稿

④ 特記事項

（８）財務

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	４　３　２　１
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	４　３　２　１
・財務について会計監査が適正に行われているか	４　３　２　１
・財務情報公開の体制整備はできているか	４　３　２　１

① 課題

② 今後の改善方策

③ 根拠資料

④特記事項

（9）法令等の遵守

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
･法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④　３　２　１
･個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④　３　２　１
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④　３　２　１
・自己評価結果を公開しているか	④　３　２　１

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

R6 年度自己点検自己評価、関係者評価の実施、公表した。

個人情報保護に基づく学生・患者様・実習施設などの情報保護のためのオリエンテーションや同意書・誓約書

④特記事項

・毎年保助看法の 14 条報告の実施、保助看法に逸脱していないかの確認がある（ｶﾘｷｭﾗﾑの実施状況や教員の要件、入学者数・卒業者数、実習施設の確認など)。

・ハラスメント防止・対策ガイドライン作成

・修学上の合理的配慮について作成

（10）社会貢献・地域貢献

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
･学校の教育資源や施設を活用した社会貢献･地域貢献を行っているか	④　３　２　１
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	４　③　２　１
･地域に対する公開講座･教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	４　③　２　１

① 課題

・地域貢献の継続。

② 今後の改善方策

・クリーン活動の継続（行岡病院・学校内外、通学通路、地域のゴミ拾い）年２回

・大阪市北区「種から育てる花図づくり事業」に参画　年４回、北区のニーズを把握し地域で求められる活動をする。

・看護の日に地域交流ができるための取り組み。

③ 根拠資料

・通学道路、病院周囲、学校周囲などの清掃（クリーン作戦)、大阪市北区との連携による花の育成

④ 特記事項

・認知サポーター場所として認定された。授業で、養成講座を取り入れた。

・行岡病院の卒後教育の一環として、「人工呼吸器蘇生人形」「AED」採血練習用「血管くん」を貸し。

・当校歯科の講義を実施している。

・実習病院との年１回の講演会（コロナ禍以降中止）や指導者会（年数回）などを通して交流している。

令和 7 年度　自己点検・自己評価に係る学校関係者評価委員会 議事録

1. 学校名　行岡医学技術専門学校　看護第 1 学科
2. 日時　令和 8 年 3 月 1 1 日（水）9：30～12：00
3. 場所　行岡医学技術専門学校　 5 階　演習室
4. 出席者

【関係者評価委員】

■東住吉森本病院 看護部　部長

■専門学校　ベルランド看護助産大学校　副学校長

【学校関係者】看護第 1 学科

■副学校長　吉田

■教務主任　安齋

■実習調整者　村上

■教務・書記　松本

■事務局　津田

---

5. 議題　令和 7 年度 自己点検・自己評価の説明および学校関係者評価

---

6. 自己点検・自己評価の説明

学校の教育理念および看護第 1 学科の教育目標について、学生便覧・授業計画・実習要項を用いて説明を行った。また、学校の概要についてはパンフレットおよび募集要項を用いて説明した。各評価項目における課題および改善に向けた取り組みについて報告を行った。

---

7. 主な意見交換内容

（1）学校運営

出席管理については、本校では管理方法の複雑さが課題となっており、業務効率化について意見交換を行った。ベルランド看護助産大学校では、infoClipper（インフォクリッパー）を活用し、学生の出席管理を一元的に管理しているとの説明があった。また、保護者への出席状況や成績の共有も同システムを活用しているとのことであった。本校でも同システムを導入していることから、出席管理の効率化に向けた運用方法の検討が必要であるとの意見が出された。

（2）教育活動

教職員の研修体制については、教育の体系化が課題として共有された。ベルランド看護助産大学校においても教員ラダー制度の運用に課題があり、特に研究活動の実施については業務負担が大きく、実施が難しい状況があるとの意見があった。

（3）臨床教育

臨床側ではｅラーニングを導入し、理解度確認テストを実施しているが、テストの設問数が多いことなどから運用面での課題もあることが共有された。

（4）学生支援

学習が困難な学生や合理的配慮を必要とする学生が増加していることが課題として挙げられた。本校においても 1 年次の退学や休学の状況について報告し、学生の学習支援体制について意見交換を行った。また、臨床側では、近年は本人からの報告前に、保護者からの問い合わせが増えている状況についても共有された。

（5）教育環境

教育環境については、Wi-Fi 環境の整備や実習室利用の調整などの課題について説明を行った。

（6）学生募集

本校の学生募集状況については、現在定員を充足している状況であることを報告した。一方で、AO 入試の拡大などにより、学生の学力や特性の多様化が進んでいることについても共有した。

（7）社会貢献・地域貢献

地域交流活動として看護の日などの取り組みを検討していることを報告した。
また、学生の身だしなみや倫理観についても課題があることを共有し、他校においても同様の課題があるとの意見があった。

8. 関係者評価委員 総評

■東住吉森本病院　看護部長

学校の方針や教育の方向性、取り組み内容についてよく理解することができた。
学生の多様性への対応については、病院においても共通する課題であり、今後の重要なテーマであると感じた。また、限られた資源の中で学校運営を行うにあたり、他校の取り組みを参考にしながら改善を進めることで、教職員の負担軽減にもつながると考える。

■ベルランド看護助産大学校　副学校長

学校運営については、理念に基づき計画的に取り組まれていることが理解できた。
また、自己点検・自己評価の体制も整備されており、改善の検討を行い PDCA サイクルへつなげている点について評価できる。学生の質の変化に対応するため、教員間で連携を図り

ながら学生指導に取り組んでいる様子が理解できた。保護者対応について迅速に行っている点については、自校においても参考にしたい取り組みである。また、情報システムの活用については、infoClipper（インフォクリッパー）の活用方法をさらに検討することで、業務改善につながる可能性があるとの助言があった。

---

9. 評価結果

本日の学校関係者評価において、説明した各評価項目については、両評価委員より概ね「適切である（評価 4）」との評価をいただいた。

---

10. まとめ

今回の学校関係者評価を通して、他校との意見交換を行うことで、本校の取り組みや現状を客観的に確認することができた。また、本校の教育活動が理念に基づき計画的に実践されていることを再確認する機会となった。本評価で得られた助言や意見を踏まえ、今後の教育活動の改善に取り組み、次年度の学校運営および教育の質向上につなげていきたい。

---

11. 今後の改善計画

今回の学校関係者評価においていただいた意見や助言を踏まえ、本校では以下の点について改善および充実を図っていく。

まず、学生の多様化への対応として、学習支援体制のさらなる強化を図る。近年、学習に困難を抱える学生や合理的配慮を必要とする学生が増加していることから、教員間の情報共有を密にし、早期からの支援体制を整備するとともに、必要に応じて保護者との連携を図りながら学生支援を行っていく。次に、教育活動の質の向上を目的として、教員研修の体系化および教員間の連携強化に取り組む。教員ラダー等を活用しながら、教育力向上に向けた研修体制の充実を図り、教育実践の改善につなげていく。

また、学校運営の効率化に向けて、情報システムの活用についても検討を進める。現在導入している infoClipper（インフォクリッパー）の活用方法を見直し、出席管理や情報共有の効率化を図ることで、教職員の業務負担軽減につなげていく。

教育環境の整備については、ICT 環境の充実や学習環境の改善に向けた検討を継続して行い、学生が主体的に学習できる環境づくりに努める。さらに、国家試験合格率の向上および就職支援についても引き続き重点課題として取り組み、学生一人ひとりの学習状況に応じた指導を行うことで、質の高い教育の水準を保ち、学習成果の向上と国家試験合格率の向上を図る。今後も自己点検・自己評価を継続的に実施し、PDCA サイクルに基づいた教育活動の改善を図りながら、教育の質の向上および学校運営の充実に努めていく。

---

12. 備考、その他など

本年度、第三者評価については未実施である。

2025（R7）年度行岡保健衛生学園　関係者評価

学校名：行岡医学技術専門学校

学科名：看護第１学科

記入者：　東住吉森本病院　看護部長

総　評：

　学校の方針や教育の方向性、取り組み内容についてよく理解することができた。

学生の多様性への対応については、病院においても共通する課題であり、今後の重要なテーマであると感じた。

　また、限られた資源の中で学校運営を行うにあたり、他校の取り組みを参考にしながら改善を進めることで、教職員の負担軽減にもつながると考える。

（1）教育理念・目標

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	④　３　２　１
・学校における職業教育の特色は何か	④　３　２　１
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④　３　２　１
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④　３　２　１
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④　３　２　１

特記事項

（2）学校運営

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④４　３　２　１
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④４　３　２　１
･運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④４　３　２　１
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	４　③　２　１
･教務･財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	４　③　２　１
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④　３　２　１
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④　３　２　１
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	４　③　２　１

特記事項

（3）教育活動

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
･教育理念等に沿った教育課程の編成･実施方法等が策定されているか	④　３　２　１
･教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	④　３　２　１
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④　３　２　１
･キャリア教育･実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④　３　２　１
･関連分野の企業･関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④　３　２　１
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④　３　２　１
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④　３　２　１
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④　３　２　１
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④　３　２　１
･資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④　３　２　１
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④　３　２　１
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務･兼務を含む）を確保するなどマネージメントが行われているか	④　３　２　１
･関連分野における先端的な知識･技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④　３　２　１
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④　３　２　１

特記事項

（4）学修成果

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・就職率の向上が図られているか	４　③　２　１
・資格取得率の向上が図られているか	４　③　２　１
・退学率の低減が図られているか	４　③　２　１
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	４　③　２　１
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	４　③　２　１

特記事項

（5）学生支援

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生相談に関する体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④　３　２　１
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生の生活環境への支援は行われているか	④４　３　２　１
・保護者と適切に連携しているか	４　③　２　１
・卒業生への支援体制はあるか	４　③　２　１
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④　３　２　１
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④　３　２　１

特記事項

（6）教育環境

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	４　③　２　１
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	４　③　２　１
・防災に対する体制は整備されているか	④　３　２　１

特記事項

（7）学生の受入れ状況

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・学生募集活動は、適正に行われているか	④　３　２　１
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④　３　２　１
・学納金は妥当なものとなっているか	④　３　２　１

特記事項

（8）財務

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④　３　２　１
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④　３　２　１
・財務について会計監査が適正に行われているか	④　３　２　１
・財務情報公開の体制整備はできているか	④　３　２　１

特記事項

（9）法令等の遵守

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
･法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④　３　２　１
･個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④　３　２　１
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④　３　２　１
・自己評価結果を公開しているか	④　３　２　１

特記事項

（１０）社会貢献・地域貢献

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	４　③　２　１
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	４　③　２　１
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	④　３　２　１

特記事項

2025（R7）年度行岡保健衛生学園　関係者評価

学校名：行岡医学技術専門学校

学科名：看護第１学科

記入者：　ベルランド看護助産大学校　副学校長

総　評：

　学校運営については、理念に基づき計画的に取り組まれていることが理解できた。

　また、自己点検・自己評価の体制も整備されており、改善の検討を行いPDCAサイクルへつなげている点について評価できる。学生の質の変化に対応するため、教員間で連携を図りながら学生指導に取り組んでいる様子が理解できた。

　保護者対応について迅速に行っている点については、自校においても参考にしたい取り組みである。

　また、情報システムの活用については、インフォクリッパーの活用方法をさらに検討することで、業務改善につながる可能性があるとの助言があった。

（1）教育理念・目標

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	④　３　２　１
・学校における職業教育の特色は何か	④　３　２　１
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④　３　２　１
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④　３　２　１
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④　３　２　１

特記事項

（2）学校運営

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	４　③　２　１
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	４　③　２　１
･運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④　３　２　１
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	４　③　２　１
･教務･財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④３　２　１
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	４　③　２　１
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④　３　２　１
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	４　３　②　１

特記事項

（3）教育活動

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
･教育理念等に沿った教育課程の編成･実施方法等が策定されているか	④　３　２　１
･教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	④　３　２　１
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④　３　２　１
･キャリア教育･実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④　３　２　１
･関連分野の企業･関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④　３　２　１
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④　３　２　１
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④　３　２　１
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④　３　２　１
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④　３　２　１
･資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④　３　２　１
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	４　③　２　１
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務･兼務を含む）を確保するなどマネージメントが行われているか	④　３　２　１
･関連分野における先端的な知識･技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④　３　２　１
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	４　③　２　１

特記事項

（4）学修成果

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・就職率の向上が図られているか	４　③　２　１
・資格取得率の向上が図られているか	４　③　２　１
・退学率の低減が図られているか	４　③　２　１
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	④　３　２　１
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④　３　２　１

特記事項

（5）学生支援

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生相談に関する体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	４　③　２　１
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	４　③　２　１
・学生の生活環境への支援は行われているか	④　３　２　１
・保護者と適切に連携しているか	④　３　２　１
・卒業生への支援体制はあるか	④　３　２　１
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④　３　２　１
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	４　③　２　１

特記事項

（6）教育環境

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	４　③　２　１
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	４　③　２　１
・防災に対する体制は整備されているか	４　③　２　１

特記事項

（7）学生の受入れ状況

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・学生募集活動は、適正に行われているか	④　３　２　１
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④　３　２　１
・学納金は妥当なものとなっているか	④　３　２　１

特記事項

（8）財務

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	４　３　２　１
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	４　３　２　１
・財務について会計監査が適正に行われているか	４　３　２　１
・財務情報公開の体制整備はできているか	４　３　２　１

特記事項

（9）法令等の遵守

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
･法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④　３　２　１
･個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④　３　２　１
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④　３　２　１
・自己評価結果を公開しているか	④　３　２　１

特記事項

（１０）社会貢献・地域貢献

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
･学校の教育資源や施設を活用した社会貢献･地域貢献を行っているか	④４　３　２　１
･学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④　３　２　１
･地域に対する公開講座･教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	④　３　２　１

特記事項

【歯科衛生科】2025 年度　行岡保健衛生学園　自己評価表

学校名：行岡医学技術専門学校
学科名：歯科衛生科
記入者：鈴木　亜紀

１．学校の教育目標

本校の教育理念は、西洋医学と東洋医学の長所を取り入れ「適応力豊かな医療人の育成」と「協同の精神とその実践」技術的に人間的にも質の高い医療技術者の養成

２．学科の教育目標

「適応力豊かな医療人」を目指すうえで学生には、科の教育目標は「成し遂げる力」を養うことである。そして職種に誇りを持つこと

「協同の精神」を達成するためには

・医科歯科連携を図るために知識や技術の習得。

３．評価項目の達成及び取組状況

（1）教育理念・目標

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	④　３　２　１
・学校における職業教育の特色は何か	４　③　２　１
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	４　③　２　１
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	４　３　②　１
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	４　③　２　１

① 課題

保護者に周知が不十分と考える

② 今後の改善方策

保護者会の開催を対面とオンラインを使用し周知する。

③根拠資料

③ 特記事項

オンライン環境の整備

（2）学校運営

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4　③　2　1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4　③　2　1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④　3　2　1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4　3　②　1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4　③　2　1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4　③　2　1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4　③　2　1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4　③　2　1

① 課題

ライフイベントにより（妊娠・出産）教員数が不足

② 今後の改善方策

求人活動を迅速に行い、新しい教員を迎え、安定した教育の質保証を保つ

③根拠資料

④特記事項

（3）教育活動

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
･教育理念等に沿った教育課程の編成･実施方法等が策定されているか	④　３　２　１
･教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	④　３　２　１
･学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④　３　２　１
･キャリア教育･実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	４　③　２　１
･関連分野の企業･関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	４　３　②　１
･関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④３　２　１
･授業評価の実施・評価体制はあるか	④　３　２　１
･職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④　３　２　１
･成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④　３　２　１
･資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④３　２　１
･人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④　３　２　１
･関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務･兼務を含む）を確保するなどマネージメントが行われているか	４　③　２　１
･関連分野における先端的な知識･技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	４　３　②　１
･職員の能力開発のための研修等が行われているか	４　３　②　１

① 課題

・学外カリキュラム不足と教育方法の工夫が不足している。

② 今後の改善方策

・コロナ禍で中止になっていた講師会議を再開する

③ 根拠資料

④特記事項

（4）学修成果

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・就職率の向上が図られているか	4　③　2　1
・資格取得率の向上が図られているか	④　3　2　1
・退学率の低減が図られているか	4　③　2　1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	④　3　2　1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4　③　2　1

① 課題

・学習意欲の向上

・卒後のネットワークが乏しい

② 今後の改善方策

・職業の魅力を教示しキャリア教育を推進する

③ 根拠

④ 特記事項

（5）学生支援

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生相談に関する体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	４　③　２　１
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	４　③２　１
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	４　３　②　１
・学生の生活環境への支援は行われているか	４　③　２　１
・保護者と適切に連携しているか	④３　２　１
・卒業生への支援体制はあるか	４　③　２　１
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④　３　２　１
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	４　③　２　１

① 課題

・臨床実習以外の課外活動が少ない

② 今後の改善方策

・歯ブラシ工場など分野に関連した課外活動をしていきたい

③ 根拠資料

④特記事項

（6）教育環境

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	４　③　２　１
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	４　３　②　１
・防災に対する体制は整備されているか	④　３　２　１

① 課題

・臨床実習以外の課外活動が少ない

② 今後の改善方策

・歯ブラシ工場など分野に関連した課外活動をしていきたい

③根拠資料

④特記事項

（7）学生の受入れ状況

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・学生募集活動は、適正に行われているか	４　③　２　１
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	４　３　②　１
・学納金は妥当なものとなっているか	④　３　２　１

① 課題

・教員と学生が協同して募集活動をしているが、定員が割れ、結果が出にくい

② 今後の改善方策

・専門の第三者を介入し、多方面からの策を教示してもらう

③ 根拠資料

④ 特記事項

（8）財務

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④　３　２　１
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④　３　２　１
・財務について会計監査が適正に行われているか	④　３　２　１
・財務情報公開の体制整備はできているか	④　３　２　１

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③根拠資料

③ 特記事項

（9）法令等の遵守

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
･法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ ３ ２ １
･個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ ３ ２ １
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	４ ③ ２ １
・自己評価結果を公開しているか	④ ３ ２ １

① 課題

自己評価結果を精度の高いものとする

② 今後の改善方策

努力し続ける

③根拠資料

④特記事項

（１０）社会貢献・地域貢献

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
･学校の教育資源や施設を活用した社会貢献･地域貢献を行っているか	４　③　２　１
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	４　③　２　１
･地域に対する公開講座･教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	④　３　２　１

① 課題

・ボランティアは保育園、小学校しか行っていない

② 今後の改善方策

高齢者領域を立案する

③根拠資料

④特記事項

2025 年度　学校法人　行岡保健衛生学園　学校関係者評価　議事録

実施日　　2026 年 4 月 11 日（土）14 時 00 分～16 時 30 分

場所　　行岡医学技術専門学校　6 階　演習室

学校名：　行岡医学技術専門学校
学科名：　歯科衛生科
出席者：　【学校関係者評価の委員】
■①卒業生　大阪府歯科医師会付属歯科診療所　勤務
■②卒業生　大阪大学歯学部付属病院　勤務
【学校関係者】歯科衛生科
■教務主任　鈴木
■教務・書記　松下
■事務局　津田

講評

明確に定められた教育理念と特色に基づき、歯科衛生士養成校としての使命を着実に果たしている。教育理念は教職員に浸透し、教育活動にも反映されているが、保護者や地域への周知については、今後さらなる工夫が求められる。

学生支援・地域貢献にも積極的に取り組んでいる。一方で、教職員の研修機会の確保、備品整備、定員充足に向けた広報強化など、今後の改善に向けた課題も明確である。これらに継続的に取り組むことで、より魅力ある教育機関として発展していくことが期待される。

【課　題・今後の対策】

＊学校運営

事業計画や規則が明確で適正に運用されており、安定した管理体制が維持されている。一方で、最低限の人員で運営されている現状から、教育の質を維持・向上させるために将来的な教職員の増員が望まれる。

＊教育活動

理念に沿った体系的なカリキュラムが編成され、学生の学びを支える体制が整っている。しかし、教員が日々の業務に追われ、外部研修などによる資質向上の機会が十分に確保できていない点は、今後改善すべき課題である。

＊学修成果、学生支援

就職率・国家試験合格率ともにほぼ100%と高い成果を上げており、教育の質の高さがうかがえる。退学者については進路変更などのミスマッチが主な要因であり、入学前後の支援体制のさらなる充実が期待される。

＊学生支援

進路・就職支援が適切に行われ、スクールカウンセラーによる相談体制も整備されている。課外活動については、実習以外のレクリエーションの機会を増やすことで、学生生活の充実が図れると考えられる。

＊教育環境

施設・設備ともに概ね充実しているものの、学生全員分の備品が不足する場面があるため、計画的な整備が必要である。防災体制は適切に整えられ、学内実習時の避難訓練も実施されている。

＊学生受入れ状況

募集活動自体は適正に行われているが、定員の充足には至っていない。広報活動の強化や地域との連携拡大が今後の課題となる。

＊財務状況及び法令順守

いずれも適正に管理されており、問題は認められない。

＊社会貢献・地域貢献

小学校での歯みがき指導など地域に根ざした活動を継続している。今後は高齢者領域など、地域ニーズの高い分野への貢献を計画しており、さらなる発展が期待される。

＊備考、その他

本年度、第三者評価については未実施である。

2025 年度　行岡保健衛生学園　関係者評価表

学校名：行岡医学技術専門学校
学科名：歯科衛生科
記入者：卒業生　大阪府歯科医師会付属歯科診療所　勤務

（1）教育理念・目標

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	④　３　２　１
・学校における職業教育の特色は何か	④　３　２　１
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④　３　２　１
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	４　③　２　１
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④　３　２　１

特記事項
オンデマンド等 24 時間周知できる環境の整備

（2）学校運営

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4　③　2　1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④3　2　1
･運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4　③　2　1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4　3　②　1
･教務･財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④　3　2　1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4　③　2　1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④　3　2　1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4　③　2　1

特記事項

なし

（3）教育活動

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
･教育理念等に沿った教育課程の編成･実施方法等が策定されているか	④　３　２　１
･教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	④　３　２　１
･学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④　３　２　１
･キャリア教育･実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	４　③　２　１
･関連分野の企業･関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	４　③　２　１
･関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④３　２　１
･授業評価の実施・評価体制はあるか	④　３　２　１
･職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④　３　２　１
･成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④　３　２　１
･資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④３　２　１
･人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	４　③　２　１
･関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務･兼務を含む）を確保するなどマネージメントが行われているか	４　③　２　１
･関連分野における先端的な知識･技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	４　３　②　１
･職員の能力開発のための研修等が行われているか	４　３　②　１

特記事項

講師会議の必要性

（4）学修成果

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・就職率の向上が図られているか	④　３　２　１
・資格取得率の向上が図られているか	④　３　２　１
・退学率の低減が図られているか	４　③　２　１
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	④　３　２　１
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	４　③　２　１

特記事項

なし

（5）学生支援

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生相談に関する体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④　３２　１
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	４　３　②　１
・学生の生活環境への支援は行われているか	４　③　２　１
・保護者と適切に連携しているか	④３　２　１
・卒業生への支援体制はあるか	４　③　２　１
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④　３　２　１
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	４　③　２　１

特記事項

スクールカウンセラーの設置

（6）教育環境

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4　③　2　1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4　3　②　1
・防災に対する体制は整備されているか	④　3　2　1

特記事項

なし

（7）学生の受入れ状況

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・学生募集活動は、適正に行われているか	④　３　２　１
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	４　３　②　１
・学納金は妥当なものとなっているか	④　３　２　１

特記事項

学校の良さを伝えることの重要性

（8）財務

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④　３　２　１
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④　３　２　１
・財務について会計監査が適正に行われているか	④　３　２　１
・財務情報公開の体制整備はできているか	④　３　２　１

特記事項

なし

（9）法令等の遵守

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
･法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④　３　２　１
･個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④　３　２　１
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④　３　２　１
・自己評価結果を公開しているか	④　３　２　１

特記事項

なし

（１０）社会貢献・地域貢献

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
･学校の教育資源や施設を活用した社会貢献･地域貢献を行っているか	４　③　２　１
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	４　③　２　１
･地域に対する公開講座･教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	④　３　２　１

特記事項

高齢者領域に取り組む

2025 年度　行岡保健衛生学園　関係者評価表

学校名：行岡医学技術専門学校
学科名：歯科衛生科
記入者：卒業生　大阪大学歯学部付属病院　勤務

（1）教育理念・目標

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	④　３　２　１
・学校における職業教育の特色は何か	④　３　２　１
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④　３　２　１
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	４　③　２　１
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④　３　２　１

特記事項
SNS などを使用した情報発信

（2）学校運営

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④　３　２　１
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④3　２　１
･運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④　３　２　１
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	４　③　２　１
･教務･財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	４　③　２　１
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④　３　２　１
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④　３　２　１
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	４　③　２　１

特記事項

DX 機器・環境の活用

（3）教育活動

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
･教育理念等に沿った教育課程の編成･実施方法等が策定されているか	④　３　２　１
･教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	④　３　２　１
･学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④　３　２　１
･キャリア教育･実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	４　③　２　１
･関連分野の企業･関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	４　③　２　１
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	４③　２　１
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④　３　２　１
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④　３　２　１
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④　３　２　１
･資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④３　２　１
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	４　③　２　１
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務･兼務を含む）を確保するなどマネージメントが行われているか	４　③　２　１
･関連分野における先端的な知識･技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	４　③　２　１
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	４　③　２　１

特記事項

講師会議での関係者間の連携

（4）学修成果

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・就職率の向上が図られているか	④　３　２　１
・資格取得率の向上が図られているか	④　３　２　１
・退学率の低減が図られているか	④　３　２　１
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	４　③　２　１
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	４　③　２　１

特記事項

なし

（5）学生支援

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生相談に関する体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④　３　２　１
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④　３　２　１
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	４　③　２　１
・学生の生活環境への支援は行われているか	４　③　２　１
・保護者と適切に連携しているか	４③　２　１
・卒業生への支援体制はあるか	④　３　２　１
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④　３　２　１
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④　３　２　１

特記事項

関連する企業アプローチ

（6）教育環境

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④　３　２　１
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	４　③　２　１
・防災に対する体制は整備されているか	④　３　２　１

特記事項

なし

（7）学生の受入れ状況

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・学生募集活動は、適正に行われているか	④　３　２　１
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④　３　２　１
・学納金は妥当なものとなっているか	④　３　２　１

特記事項

なし

（8）財務

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④　３　２　１
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④　３　２　１
・財務について会計監査が適正に行われているか	④　３　２　１
・財務情報公開の体制整備はできているか	④　３　２　１

特記事項

なし

（9）法令等の遵守

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、やや適切･･･２、不適切･･･１
･法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④　３　２　１
･個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④　３　２　１
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	４　③　２　１
・自己評価結果を公開しているか	④　３　２　１

特記事項

なし

（１０）社会貢献・地域貢献

評価項目	適切･･･４、ほぼ適切･･･３、 やや適切･･･２、不適切･･･１
･学校の教育資源や施設を活用した社会貢献･地域貢献を行っているか	④　３　２　１
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	４　③　２　１
･地域に対する公開講座･教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	４　③　２　１

特記事項

学校の教室を使用できるか。